

平成 30 年西日本豪雨災害における災害ボランティアバスの運行について

日 時	7月22日(日) 7時~17時50分	8月5日(日) 7時~18時
参加者	29名	15名
同行者	市2名、社協6名	市2名、社協5名
車 両	バス2台(社協)、乗用車1台(社協)	
活動現場	大洲市内の被災家屋	
活動内容	<p>石材店舗兼住宅において、泥だしや家財道具等の処分、製品や工具の水洗い等を行った。</p> <p>活動は10時頃から15時30頃まで行い、熱中症対策として30分の作業につき10分の休憩を徹底の上、こまめな水分補給を呼びかけた。</p>	<p>被災後1ヶ月の間ほぼ手付かずとなっていた民家において、散乱した家財道具等を人力で運び出し、軽トラで集積場まで運搬を行った。途中、大分市のごみ収集車による回収支援を受けることができ、大幅に作業効率が上がって非常に助かった。</p> <p>活動は9時40分頃から15時30頃まで行い、こまめな水分補給と20分の作業につき10分の休憩を徹底した。</p>
位置図		